

2021年3月号

NO504

# ぶな



滋賀県勤労者山岳連盟 比良雪稜会

## 目次

目次	.....	1
巻頭言	.....	2
例会山行案内		
藤原岳	3月 28日(日) .....	3
京都トレイル	4月 3日(土) .....	4
春の公開山行	4月 29日(日) .....	5
予告 比良比叡トレイル	5月 2日(日)~3日(月)	6
例会山行報告		
八雲ヶ原雪中テント泊	1月 30日(土)31(日) .....	7
森山岳	2月 14日(日) .....	9
個人山行報告		
霊仙山	2月 7日(日) .....	11
	...	
伊吹山	2月 20日(土) .....	12
	...	
会計からのお知らせ	.....	13
新入会ご挨拶	.....	13
予定表	.....	14

表紙写真  
森山岳  
撮影 H島氏 2021. 2. 14

## 「山に親しみ70年？」

M 藤 (記)

私は戦中生まれで家族旅行等、全く縁の無い時代でしたが小学2年の遠足で高尾山に、林間学校で5年の時、北八ヶ岳・6年で燕岳(初期の交通公社の学童ツアー)と山で楽しく過ごした事で中学時代には山仲間が出来、近くの山を歩き始めました。しかし高校は夜間で4年間、朝7時には家を出て帰宅は夜23時頃の毎日が続き、山はご無沙汰、その事も有り、大学も夜間でWV部に入りましたが体調を崩し入学直後に気管支肺炎で吐血し入院、もう山は無理と思いましたが、入院で体調が改善、WV活動も楽しく、再び山歩きを始め体力も戻り、その年末年始に初めて冬の丹沢山系(塔ノ岳～桧洞丸)を友人と縦走、5年間、日常生活は同じでしたがWV活動がプラスも無事卒業。就職後は忙しく、山歩きは殆ど出来ず年数回に留まりました。しかし定年前には山仲間も出来「比良雪稜会」にも入り、定年後は好きな山三昧の生活でした。

S40年前後のWV時代は交通機関・有人の山小屋等も少なく、合宿時は30Kを超える荷物(テント・シュラフ・素材のままの食材や鍋釜等)を背負い縦走。登山口迄、駅から歩けば半日以上掛かる所も多く、地元の役所等と車の手配、水場・テント場の情報収集から下見等、多くの時間を費やしました。その経験は、その後の山行計画時にも、大いに役立ちました。ツアーや他の山の会の人達との海外トレッキング等は言葉の出来ない私の海外活動にも、そして国内では、安いフリーツアーを利用した東北・北海道・九州等の遠方の山行等も楽しめ、お蔭で幅広い活動が出来ました。時には思わぬ失敗談(笑話?)もありますが、しかし時代と共に交通・情報・装備等の目覚ましい進化は多様な山行を可能にし、又、この歳迄、無事故で過ごせた事は幸運でした!70歳迄、山歩きが出来ればとの思いも一昨年77歳「喜寿」時、初めて3km級の山に登頂した「思い出の山:北岳」に再び6度目の登頂が出来、雪稜会40周年の「南ア縦走行事」を一人、楽しむ事が出来、良い思い出になりました。多くの入退院を繰り返しましたが、山歩きが、その後の健康に繋がり、この歳まで山歩きが出来た要因だと思います。そして転勤で知人のない滋賀の地に住みましたが、多くの交友関係が得られた事も「山が取り持つ」賜物だと思います。

コロナで山歩きも海外トレッキングも終息後、大きく変わりますが「山の会」には、その解決方法が有ると思います。今は、ワクチン接種後の平常社会に戻った後の楽しみ方を皆で考え活動する時期だと思います。

「山歩き」は良く「人生」に例えられますが、道中、何が起こっても乗り越えて前に進むか?迂回か?撤退か?停滞か?目的に向かい、うまず、たゆまず、努力する事が大事だと思います!達成出来るかは別として前を見て歩む限り、未来があります!

一日も早く「密な人間関係」の出来る、平常生活に戻る日を願って止みません!

例会山行案内

## 鈴鹿 10 座 藤原岳

鈴鹿山脈北部に位置し、石灰岩質の台地状の山容をもつ藤原岳。春には福寿草やセツブンソウなど多くの美しい花々が咲いています。

(見どころ)

藤原岳山頂のカレンフェルト上からの大展望

天狗岩ピークへの分岐付近での福寿草の群落

(コース)

3月28日(日)

堅田駅(7:00)＝西藤原駐車場(9:00)～聖宝寺登山口(9:30)～藤原山荘(12:00)～藤原岳(12:15)  
～天狗岩(13:15)～藤原山荘(14:00)～大貝戸登山口(16:00)＝堅田駅(18:00) 解散

体力★★★★☆☆ 技術★★☆☆☆

(集合) 3月28日(日) 堅田駅 7:00

荒天中止(中止の場合、前日に連絡します)

(申込先) H島

(装備等)

軽アイゼン・ストック・手袋・防寒具・地図・ヘッドライトその他登山装備

(申込期日) 3月22日(月)

ご参考

東近江市ホームページ

鈴鹿10座をすべて登頂された人に鈴鹿10座バッジがプレゼントされます。

平成27年10月以降に登頂された分が対象です。

## 【例会案内】

### 京都トレイル（1）

満開の桜を随所に見ながら京都トレイルを歩きます。ご存知の通り「京都一周トレイル」は、伏見桃山から苔寺まで全長83キロのコースです。今回は、その起点となる伏見桃山から蹴上を経て七福思案処（標識39）までのコースを歩きます。そしてここから山科疎水まで下ってゴールの山科駅を目指します。少し長い道程ではありますが、お花見健脚ウォーキングと言うことで、いい汗をかいてみませんか。

日 程：4月3日（土）・・・「雨天の場合 4日（日）」

集 合：近鉄京都駅（改札前）8時10分

行 程：京都駅8：16発→伏見桃山8：30～稲荷山四つ辻11：30～清水山14：00～蹴上14：50～思案処15：10～JR山科駅16：30解散（15：30を目安に蹴上を終点とし地下鉄を利用する場合があります。）

難 度：体力★★★ 技術★（歩行距離約23キロ）

装 備：水、弁当、雨具、その他

申込先： K原 （3日のみOK）

申込締切：3月28日（日）

雨天中止：前日に3日は中止し、4日に変更する、または両日とも中止する場合は連絡します。参加各位は、ご確認の返信メールをお願いします。（4日不参加の方は、返信でお知らせください。）

（追伸）この例会以降、終点の苔寺まで残り60キロを3回に分けて完歩したいと考えています。そしてまた、コロナ次第ですが打ち上げビールを飲みたいと思いますのでよろしく願いいたします。

以上

恒例 春の公開山行(野点はなし)

## マキノ 赤坂山～三国岳～黒河峠

… びわ湖眺望とカタクリ・イカリソウ・イワウチワなどの花が迎えてくれます…

日 程：2021年 4月29日(木・祝) 雨天中止

コース：堅田駅＝(貸切バス)＝小野駅・和邇駅・近江今津駅＝マキノ高原駐車場～栗柄越～  
赤坂山～明王ノ禿～三国岳～黒河峠～黒河林道入口＝(貸切バス)＝マキノピク  
ランド＝近江今津駅・和邇駅・小野駅・堅田駅

歩行 約5時間半

集 合：JR 堅田駅 7：00 小野駅 7：10 和邇駅 7：15 近江今津駅 8：00

交 通： 貸切バス

参加費： 会員・会友・会員家族：2500円

会員の友人・知人： 3500円 (バス代・保険代)

定 員： 40名

担当&申込先： N村高

※野点はいりません。(新型コロナの感染予防のため)

※集合は 従来の堅田駅・小野駅・和邇駅の他 近江今津駅 を増やしました。

春のメイン行事です！

会員は今から予定しておいてください。

友人・知人にも早めに声掛けください。

野点はありませんが、賑やかで楽しい山行としましょう！

例会予告)

## 比良比叡トレイル

(比良山系縦走)

ご存知の通り、「比良比叡トレイル」は、坂本からくつき温泉まで比叡山系と比良山系を繋いだ約50キロのコースです。昨年7月19日の例会でこのうち坂本から還来神社まで比叡山系を縦走するコースを歩きました。

今回はテント泊山行として、還来神社をスタートに霊仙山、蓬莱山、武奈ヶ岳、蛇谷ヶ峰と新緑の比良山系を縦走し、終点となるくつき温泉まで歩きます。テント泊地は八雲ヶ原を予定しています。夏山のトレーニングを兼ねてテント泊縦走を楽しみませんか。

日 程：5月2日（日）～3日（月）

集 合：堅田駅前 7：00

行 程：堅田駅タクシー→還来神社→霊仙山→金糞峠→八雲ヶ原（泊）  
八雲ヶ原→武奈ヶ岳→地蔵峠→蛇谷ヶ峰→くつき温泉（入浴）  
→タクシー利用 JR 安曇川駅（解散）

難 度：体力★★★★ 技術★★

装備等：テントはソロテント、共同テントのいずれか持参して下さい。 また、夕食を共同で行う場合は装備等の分担をお願いすることになりますが、詳細については参加者確定後に打ち合わせとします。

担 当：K原

申込締切り：4月20日までをお願いします。

\*「ぶな4月号」で例会案内をします。

以上

<例会山行報告>

雪山テント泊山行（八雲ヶ原）

日時 2021年1月30日(土) 31日(日)

参加者 1班 CL H島（車・救急）SL F野（車）K原（車）F川 S藤（記録）  
2班SL K嶋 K井（車） S水 N井 計9名

行程 1月30日(土)：正面谷駐車場—大山口—北比良峠—八雲ヶ原—旧スキー場  
31日(日)：八雲ヶ原—北比良峠—大山口—正面谷駐車場

1月30日(土)

- 8 : 45 正面谷出発 あたり一面10cmほどの積雪 このときは快晴
- 9 : 25 K嶋さんが時計を紛失したので駐車場まで探しに戻る。粉雪ちらほら
- 10 : 17 カモシカ台 後続グループを待つ、無事時計が見つかったとのこと  
このあたりから積雪が一層深くなり、雪も降っていた
- 10 : 35 全員合流する。このときは青空も出ていたが、次第に雪空へと変わる。
- 11 : 37 シンジの谷との分岐 雪が降り続く。  
積雪30～40センチほど ふかふかのきれいな新雪。
- 11 : 44 北比良峠 雪が断続的に降り、風もかなり強い。
- 12 : 30 八雲ヶ原到着。積雪は一層深い。雪が降り続く中、各自テントを設営する。
- 13 : 10 降雪にもめげず皆で石テーブルを囲んで歓談する。ほっこりティータイム。
- 14 : 15 雪もやみワカン、アイゼンを装着し、6名でユーエンスコースに向けて出発
- 15 : 05 旧スキー場の展望台に到着する。雪もやみ、見晴らしよし。登りながら右手前方（北西）に武奈が見えた。反対方向（北東）には「あれが、カラ岳、釈迦岳」とH島SL。
- 15 : 30 テント場帰着。石テーブルを囲み、おやつを食べながら歓談する。  
水を汲んでは煮沸するなど、そうこうしているうちに、夕方になってきたので、各々持ってきた物で夕食タイム。
- 18 : 00～ テントに入る人、外で話す人、…それぞれのゆったりタイム。

31日(日)

- 6 : 00 H島SLから天候が良くないので、9時ごろ下山することを聞く各自テントの中で朝食をとる。

- 9 : 10 雪が降る中、テントを片づけて出発。昨日はアイゼンなしで登ってきたが、  
帰りは全員アイゼン装着。
- 9 : 30 北比良峠通過。
- 10 : 33 カモシカ台次第に雪が雨になってきた。足元は雪が溶け地面が見えている。
- 11 : 34 大山口到着。雨は止み、曇り空へ。
- 12 : 00 正面谷駐車場帰着。昨日の雪はすっかり溶けていた。  
全員怪我なく元気に解散。
- 日頃の行いが良いので、雪中テント泊の日には、しっかりそれ用に雪が  
降ってくれました。

この度は、滅多に経験できない例会を執行して下さい、一生の良い思い出となりました。  
楽しかったです！一緒に行ってきた皆さん、本当に有難うございました！

(記録：S藤)

#### <一口感想>

初めての雪中テント泊。ところが、行きから呼吸がしんどくなったり、両太ももが同時につって歩けなかつたり…。ぜんぜん歩けず、皆さんにご迷惑をおかけしました。H島リーダーには荷物を交換しいていただき何となく到着しました。お腹が弱く、水を持参したので荷物が重くなってしまいました。体調管理とともに反省です。雪の中では普段あたりまえにできていることも、なかなか難しかったです。普通のガスカートリッジだったので気化熱で冷えてしまい、火力が弱くて、なかなかお湯が沸かなかつたり、せつかく沸かしたのにすぐにさめたり…。携帯トイレにも初チャレンジ。これはなかなかの優れものでした。夜中、強風にテントごと飛ばされないかなあ、とか雪で埋まってしまったらどうしよう…とか。いろいろ思えてしまえるほど寒かったです!! ですが、いろいろ初めての楽しい体験ができました。皆さん、ありがとうございました。(S水)



## <例会山行報告>

### 森山岳（スノーシューハイク）

日時:2021年2月14日(日)霧のち曇り

参加者:CL H島 SL N野 SL K嶋

F川 K原 S藤 K井 N井 H浦 H池 K村 S水

12名

行程:びわ湖バレーロープウェイ山麓駅集合8:30~打見山9:10~

蓬莱山9:40~森山岳10:40~長池・昼食、休憩11:50~森山岳13:45~

蓬莱山14:30~打見山15:00~びわ湖バレーロープウェイ山麓駅解散15:20

山麓駅からロープウェイに乗ってスキーやスノーボードをかかえた人に混じり、多少、密になりながら山頂までラクラク到着。霧が濃く、周りが見えにくい状況。それぞれにアイゼンやワカンを着用して出発。邪魔にならないようにゲレンデの端を歩きながら蓬莱山へ。ゲレンデ外には雪がなく装備を外して進むが、道がわかりにくく、景色も見えにくかったのでヤママップや磁石を頼りに方向を確認しながら森山岳を目指す。所々、残った雪で滑りながら森山岳に到着。「ここで野点をしてもいいかも」という声がかかるような素敵なお場所。森山岳から長池までアップダウンを繰り返しながら進む。少しずつ天気が回復し、比良の山並みも見えるようになる。長池を眺めながら昼食。お腹を満たして、いざ！長池を周遊。ところが道がわかりにくく迷走。またまた方向を確認しながら森山岳へ。森山岳では行く手に蓬莱山がはっきりと見えたが、その高度差に「あそこまで登るのか・・・」と思いつつ、黙々と歩を進める。蓬莱山からは朝、見ることもなかった琵琶湖も楽しむことが出来た。打見山への最後の登りはリフト横の木道を歩かせてもらう。ゲレンデ整備のスタッフが「雪は商品ですので、汚さないようにご協力ください」という言葉が印象的。登りきったところで靴の裏を洗って無事、ゴール。山麓駅まで降りて解散となった。残念ながら雪が少なく、ワカンを使っただけ、そり遊びは楽しめなかったが、地図にはないルートをみんなで楽しんだ。写真は今回もK原さんにお世話になりました。ありがとうございました。

(S水・記)

## <一口感想>

琵琶湖畔とびわ湖バレーはガスガスで見通し悪くゲレンデも何処を歩いているのかイマイチ分からず何とか蓬莱山頂上へ、後は余り雪が無くワカンを担いでだけのスノーハイクになりました。道迷いでヤママップ見たり地図にコンパスあてたりと大忙しでしたが楽しく山歩き出来ました。

(H浦)

ヤマップとコンパスを手にルートを探しながら歩く山行は、とても楽しかったです。地形図と目の前の景色を重ねるのは難しい…慣れるまでこまめにやっつけていこうと思います。

森山岳も長池も初めてでした。比良山もまだまだ知らないところがあるんだなあとわくわくしました。  
(K村)

春のように暖かい例会山行でした。前回の森山岳は雪も多すぎて遊びが出来ましたが、今回は山頂は全く雪が無く少しがっかりしました。

(N野)

暖かい日が続き、雨も降ったり止んだりだったので仕方無いとは思うけど、雪は予想以上に少なかった(泣) ひょっとしたら…と思い、スノーシューを担いで来たけど全く無駄だった(笑)でも、初めての森山岳は中々楽しいルートだったので、今度は雪タップリな時に歩きたいなあー

(K嶋)

早春の爽やかさを感じる楽しい山行でした。地図とコンパスを何回も出して方角を確かめることもでき、良かったです！ (S藤)

穏やかな天気の中、奥深い比良の残雪と趣いっぱいの長池周遊を楽しみました。  
(H島)



〈個人山行報告〉

## 霊仙山

日時：令和3年2月7日(日) 天候：曇り 微風

参加者：N尾・H島・S藤

行程：大津5:00～(湖周道路)～多賀町今畑登山口6:40

今畑登山口7:00～笹峠8:17～近江展望台9:35～霊仙山最高点10:26

霊仙山頂三角点10:49～経塚山(9合目)11:11～避難小屋(昼食)11:22-55～

経塚山12:07～5合目12:59～汗拭き峠(2合目)13:37 落合～駐車地点14:35

正月に樽ヶ畑コースを断念した霊仙山へ今日は廃村の今畑からの周回コースを歩く。滋賀県の山で案内されているポピュラーコースだがここは初めてだ。結構登山者が多そうので皆路肩駐車している。念のため輪カンやヘルメットも持参する。近江展望台への急登の手前でもしかしたらと思っていたK嶋さん達に早くも出会う。ここからの直登区間は条件次第では心配箇所だったが積雪少なく気温も高めで問題なかった。大雪原を進み霊仙山最高点と山頂が並んで見えたときは天候に感謝した。冬の霊仙山に10年程前に初めて登った時は、上部がホワイトアウトで山頂までは行けましたがトレースが交錯して道がよくわからず地図と磁石のおかげで何とか無事に下山できました。

お昼は寒さを避けて好位置にあるしっかりした避難小屋でK嶋グループと一緒にでしたが以後は出会わずでした。下山路の樽ヶ畑コースは合目ごとに標識があり分岐である汗拭き峠から廃村の落合を経て今畑登山口近くの駐車場所まで予定通り下山しました。

〈一口感想〉

今畑からのルートは、雪が多く標高1000mまでは急な登りで正直きつかったです。でも苦勞して登っただけあって、初めての霊仙山の山頂はとても広大な雪原で、その景観は目をみはるほど美しいものでした。一緒に行かせて頂いて感謝です。 S藤



## 《個人山行報告》

### 伊吹山

日 時：2021年2月20日(土) 曇りのち晴れ

参加者：K嶋 CL、K井 SL、S水

行 程：上野登山口 7:45～一合目トイレ前(アイゼン装着)8:15～三合目東屋 9:30～五合目小屋  
10:00～六合目避難小屋 10:20～八合目 11:25～山頂 11:55～六合目避難小屋 13:15～三  
合目東屋 13:50～一合目(アイゼン脱着)14:50～上野登山口 15:20

毎年、総会のある辺りは天気の良いのを思い出し、急遽前々日に伊吹山を計画し誘ってみるも、結局三人だけで登る事に…。っで、天気は登り出しから曇っていて、高度が上がるとガスで益々視界が悪くなる一方…。今回二人は 12 本爪のアイゼンとピッケルデビューで大変歩きにくそう。今日はアイゼンとピッケルの練習なので、山頂まで行けなくても良いなって話してはいたけど、八合目手前の急登も何事もなくクリア出来、時間にも余裕があったので、そのまま山頂まで行く事に…。山頂では流石に風が強くよろけてしまう程やったけど、三角点まで足を運ぶことも出来、三人共大満足で下山開始！下山開始後暫くすると先ほどまでのガスが取れ始め、段々と視界がハッキリとしだし、青空も見えてきて素晴らしい景色に変わっていった。青空と白い山頂を何度も振り返りながら下山し、伊吹薬草の湯に入浴後、大津に帰ってきた。

全員無事に下山、感謝です。

(記：K嶋)



《お知らせ》

☆ 前期会費等振り込みのお願い ☆

2021年度前期（2021年2月～7月）の会費と登山時報の年間購読料（購読者のみ）を納入していただく時期となりました。

振り込み用紙をヤマト便で発送致しますので、金額を確認の上、過不足なくお振込みいただきますよう、ご協力よろしく願いいたします。

会計 H浦

<新入会ご挨拶>

この度、2月より入会させて頂きましたK村 A子と申します。

K南市I部町在住です。

比良雪稜会には以前入会させて頂いており、沢山の経験をさせて頂きました。また山行を通して色々な事を教えて頂きました。

退会后、走る事を始めランニングクラブに入り、又、ランニングイベントや大会を通じて沢山の方々と知り合う事が出来ました。

ランニングを通じで知り合う方々と山の世界で知り合った皆さんとは随分タイプが違うなと感じました。又、山とランニングのしんどさも全然違うなと思いました。

でも、ランニングをしながら山に行きたいとお話される方、実際色んな山に行かれる方、トレランをされる方、沢山いらっしゃいます。

雪稜会でも日々ジョグをトレーニングにされている方、大会に出場される方、沢山おられるとお聞きしています。

目標に向かって計画し一つ一つ達成していく過程が似ているのでしょうか。

この1年で大きく生活が変わりました。昨年2月のマラソン大会を最後に大会は軒並み中止、タイムを望む気持ちも消えていきました。会社もリモートワークとなり家に籠る生活となりました。父の介護もあり穴倉に籠って冬眠している様な毎日が1年続きました。

昨年末父を看取り、年が明け春を感じる日が増えてきました。

梅の花も咲き始め、冬眠生活も終わりにしないとと思う様になりました。

ゆっくりなペースで楽しみを広げたいと思っております。

会長には再入会をお認め頂き感謝しております。

皆様どうぞよろしくお願い致します。

# 3月予定表



1	月		19	金	
2	火		20	土	
3	水		21	日	
4	木		22	月	「ぶな」原稿締切
5	金		23	火	
6	土		24	水	
7	日		25	木	
8	月		26	金	
9	火	第1回運営委員会	27	土	
10	水		28	日	例会山行 藤原岳
11	木		29	月	
12	金		30	火	
13	土		31	水	
14	日		編集後記		3月の例会は28日の藤原岳だけです ので個人山行の寄稿をお願いします。 編集委員一同
15	月				
16	火				
17	水				
18	木				
4月の予定					
3	土	例会 京都トレイル(伏見桃山)			
25	日	例会 御池岳			
29	日	例会 春の野点山行(赤坂・三国)			



滋賀県勤労者山岳連盟

## 比良雪稜会

滋賀県大津市和邇今宿 712-1 西村方

TEL&FAX 077-594-0454

E-mail [kazuyo-buna@r.river.sannet.ne.jp](mailto:kazuyo-buna@r.river.sannet.ne.jp)

HP <https://aquafoal39.sakura.ne.jp/>